



ふれあいの里公園



総合開発審議会



議会風景

羽ばたく七宗

未来を見つめて

七宗町第四次総合計画 西暦2006年度から2015年度

第一節

「調和のとれた生活・交流基盤のまちづくり」

恵まれた自然環境との調和を図りつつ、安全・便利・快適な居住環境の整備を図るためには、何よりもまちづくりの基盤となる土地利用の確立、道路網、上下水道、情報通信などの生活基盤整備を推進することが重要です。

第二節

「快適で安心・安全に暮らせるまちづくり」

地球環境問題が大きく取り上げられている中で、優れた自然環境を保有する七宗の特色を生かし、人と自然にやさしい環境づくりを進め、安全安心に暮らせるまちづくりが求められています。

第三節

「おもいやりとやすらぎのある
健康・福祉のまちづくり」

生涯を健康で楽しく暮らすことができる快適居住空間の実現をめざします。そのためこれらを支える生活環境施設・システムの向上と、福祉などのサービス水準の量的充足と質的向上を図ります。

第四節

「将来を担う人材の育成と
生涯学習のまちづくり」

人々の生活様式や価値観が多様化し、量から質へ、モノから心へと価値観が変化しており、ゆとりやつるおい、郷土の歴史や文化への関心、自然や人とのふれあいなどを求める傾向が強まっています。こうした中、これからは、豊かな心を育みながら、人にやさしいまちづくりやゆとりとするおののある地域づくりが求められています。

第五節

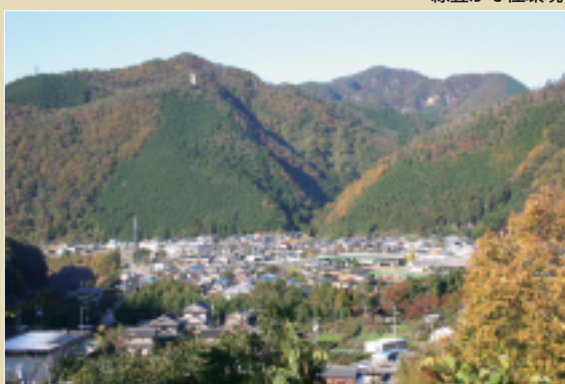
「地域資源を生かした活力と
創造あふれるまちづくり」

第一次産業から第三次産業まで多様で調和のとれた産業振興を図ることは、豊かで自立的なまちづくりを進めるうえで極めて重要なことです。特産作物を中心とする農林業の一層の振興、そして、後継者の確保を促す魅力ある産業づくりを多様に進めます。

スポーツフェスティバル



緑豊かな住環境



座談会

